

II. 対人業務の強化

2. 薬剤師

①予防接種

インフルエンザ、肺炎、肝炎、帯状疱疹他 十数種類
治療は医師、予防は薬剤師

* 生活者は予防に時間と金をかけない

⇒「日常(最寄×ついで)」での解決

ついで:利便性+他の立ち寄り理由の豊富さ

②血液検査

医 師:診断目的

薬剤師:薬物治療管理目的

* 資格に業務が付随 ⇒ 目的に業務が付随

③緊急避妊薬

最寄りのアクセスポイントとして対応

1. Pharmacy with No Medicine

(薬剤のない薬局)

薬を作つて渡す…DSやネット

薬局は

患者に寄り添い

期待する治療効果発現のため

症状の確認やバイタルチェックを踏まえて

医師や患者にアドバイスする

*再入院までの期間/転倒率の低下等
エビデンスによって追加フィーの対象

2. アウトカムベースの支払い (Pharmacists' Stand-up Program)

医師、看護師、薬剤師他チームで受託

⇒慢性疾患の治療実現に対してフィー

⇒フィーの総額を従事者で分配

医 師 : 診察と診断

薬剤師 : 薬物治療

* 実施、効果確認、処方提案

⇒最終目的のための合理的業務分担

* 可能とする職能訓練が必要

IV. 薬局の新たな医療貢献

ドラッグストア/薬局 デジタル武装

①保有(外部と共有)するデータ

- ・OTC、健康食品購買履歴
- ・PHR(ライフログ)～血圧、運動量、体重、体脂肪 etc
(データの質、個人情報等問題解決の要)

②アプリによる情報提供

- ・購買履歴×PHR(ライフログ)による患者への個別注意喚起

③アプリによる医療アクセス

⇒アプリから(AI)問診+医師による遠隔診療+調剤

- ・テスト+セルフチェック(メンタル、認知症、更年期)
- ・受診への新たな入口
- ・医師への情報提供(上記①) &フィードバック
- ・服薬支援／薬歴

* 双方向の医療コミュニケーションへ

ご清聴ありがとうございました